



株式会社 カの源ホールディングス 【証券コード: 3561】



2021年2月12日

2021年3月期 第3四半期決算補足説明資料

- **2021年3月期 第2四半期決算報告**
 - **連結損益計算書** P. 3
 - **連結四半期別売上利益** P. 4
 - **国内・海外四半期別売上利益** P. 5
 - **セグメント別概要** P. 7
 - **特別損失額内訳** P.15
 - **連結貸借対照表** P.16
 - **エリア別店舗数** P.17
- **2021年3月期（今期）業績予想** P.19
- **主な実施事項** P.20
- **付属資料** P.25
 - **会社の概要**



**2021年3月期
第3四半期決算報告**

日本
一風堂 浅草橋本舗
2020年11月28日 Grand Open

連結損益計算書



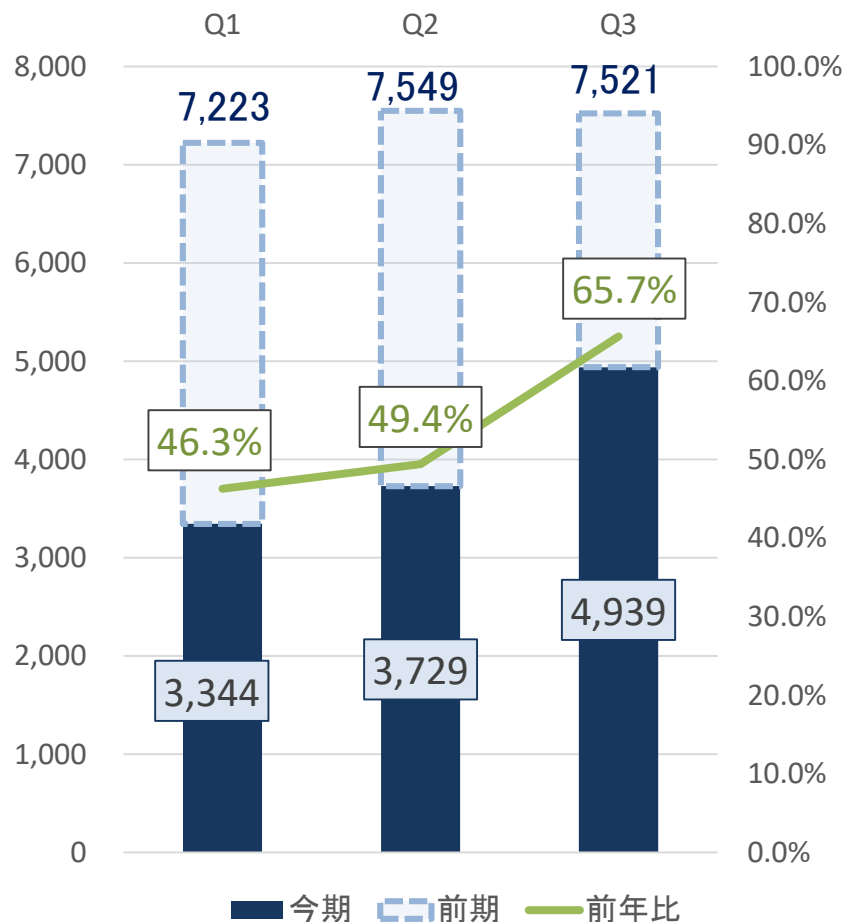
	2021年3月期 Q3実績	2021年3月期 Q3計画 (予想未定)	2020年3月期 Q3実績	計画比	前年比
単位：百万円					
売上高	12,010	—	22,293	—	-46.1%
売上総利益	8,268	—	15,791	—	-47.6%
販売費及び 一般管理費	9,199	—	15,086	—	-39.0%
営業利益	-931	—	704	—	—
経常利益	-980	—	658	—	—
税金等調整前 四半期純利益	-2,386	—	634	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-2,025	—	530	—	—

国内店舗のQ1での休業や、海外店舗の4月～6月(連結上はQ2)にかかる休業、営業時間短縮の影響等により売上高が前年比53.9%、休業期間にかかる固定費を特別損失として計上

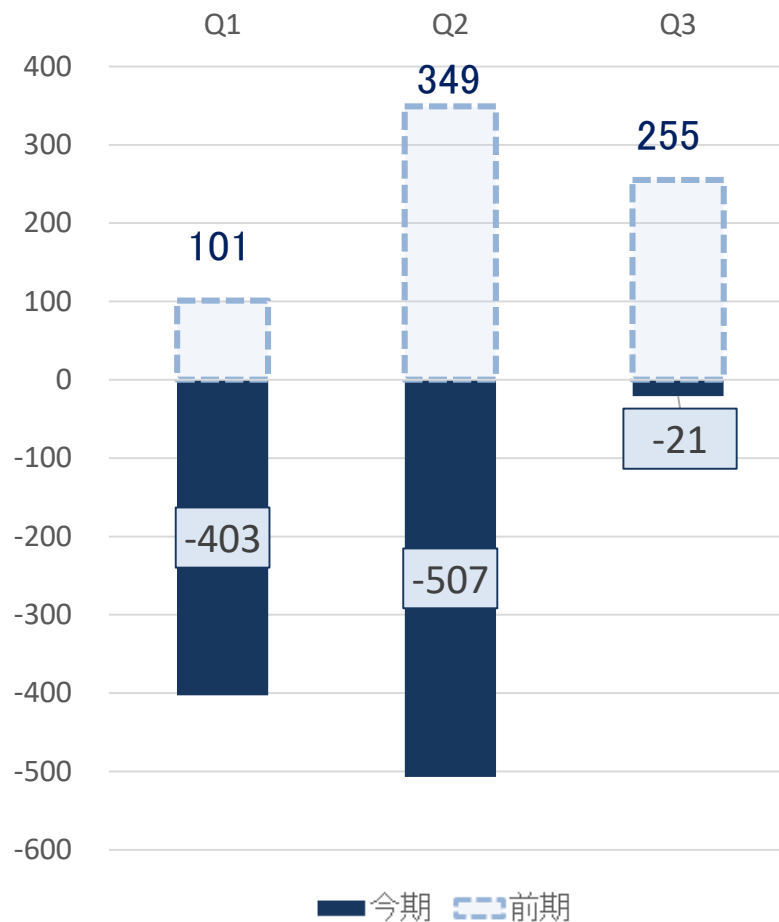
連結四半期別売上高・営業利益の前年比推移



売上高



営業利益

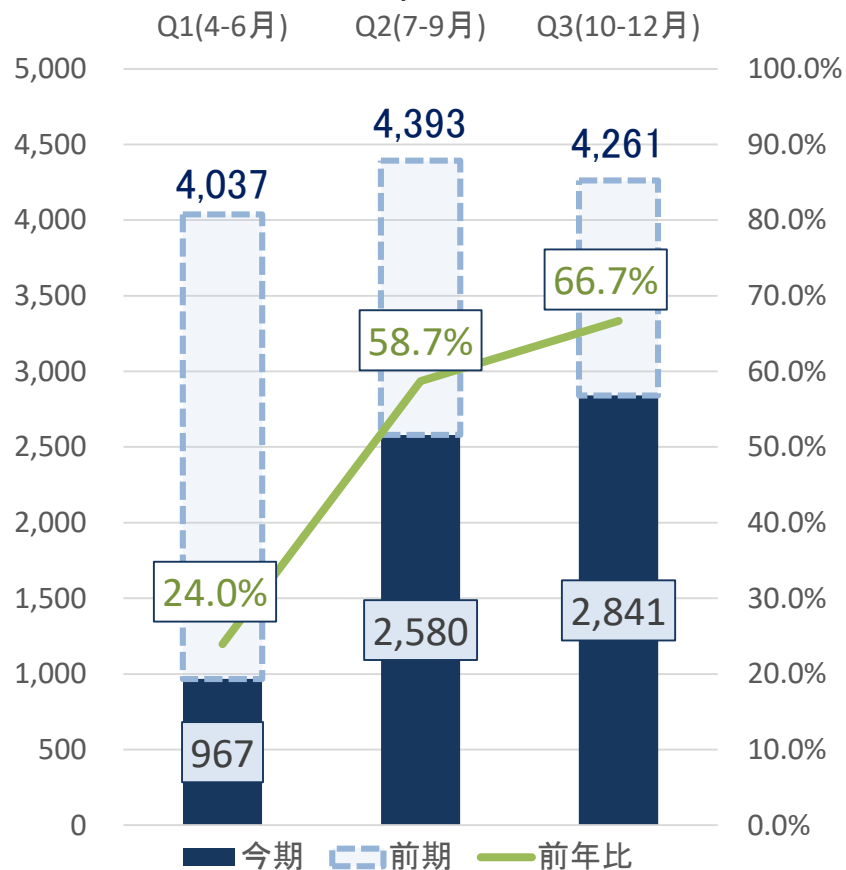


売上高はQ3にかけて回復傾向、
営業利益はQ2にて底入れ

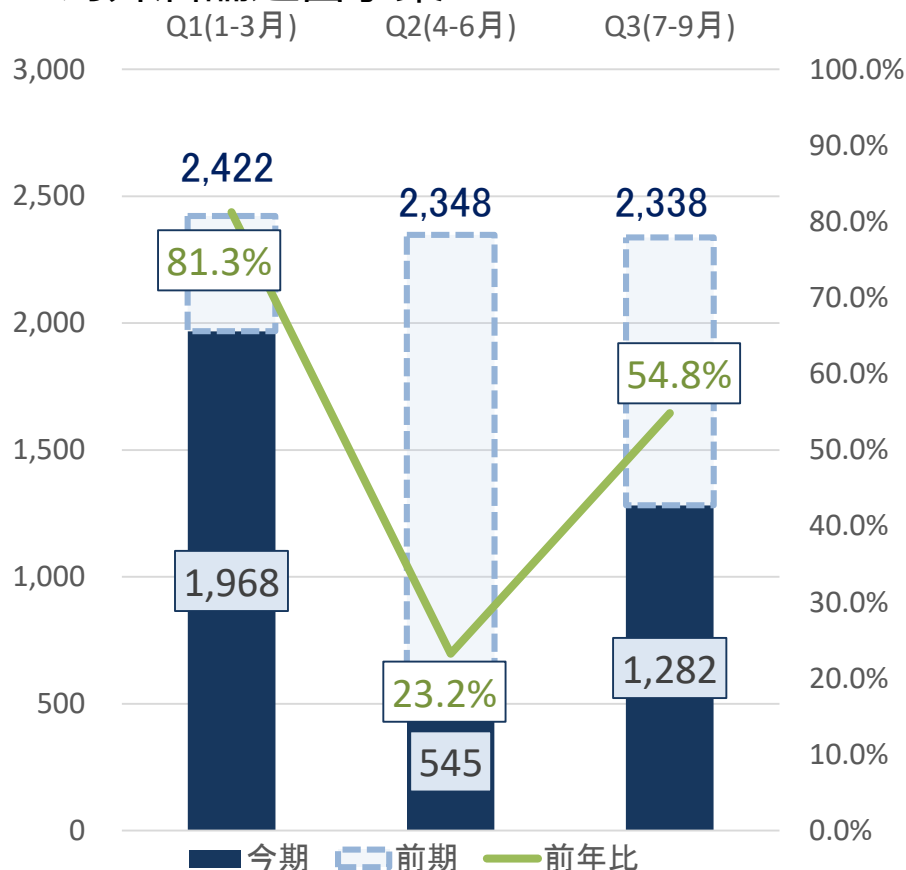
国内・海外における四半期別売上高前年比推移



国内店舗運営事業



海外店舗運営事業

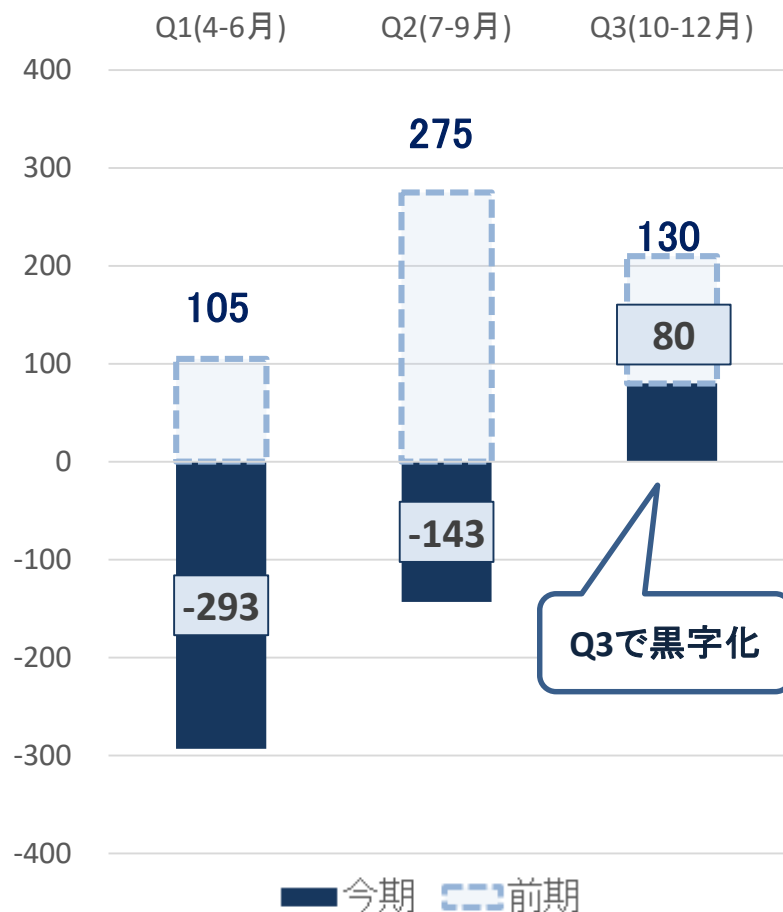


	Q1	Q2	Q3
国内	緊急事態宣言により店休実施、営業再開	時間短縮による営業	売上高回復も、感染の再拡大による影響あり
海外	ロックダウンの影響あり	エリアによってロックダウン	エリアにより営業再開

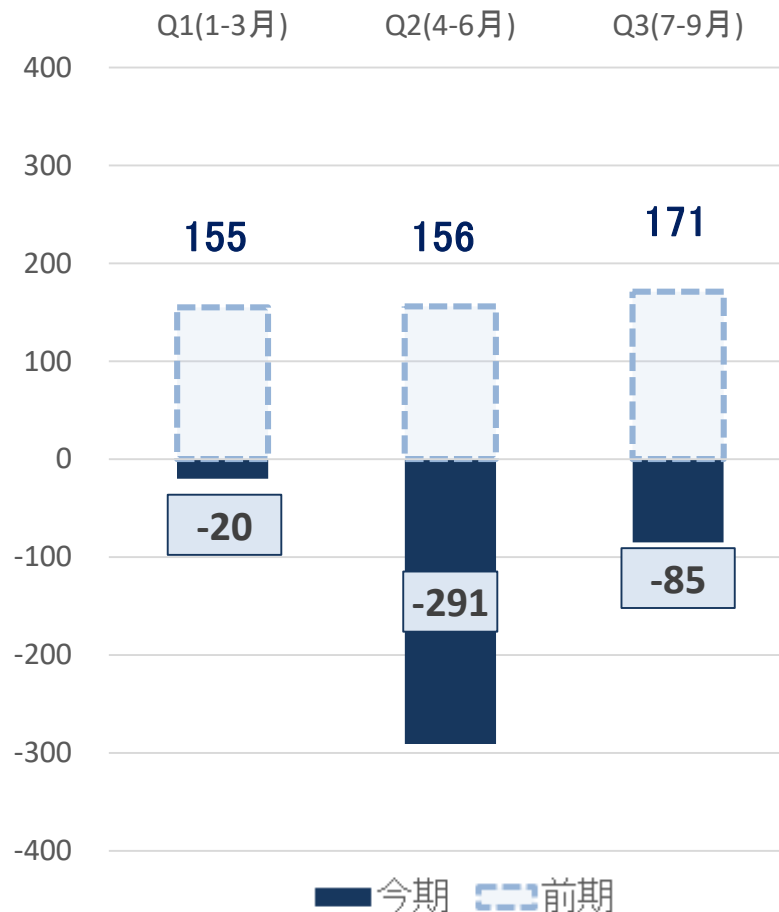
国内海外における四半期別営業利益前年比推移



国内店舗運営事業



海外店舗運営事業



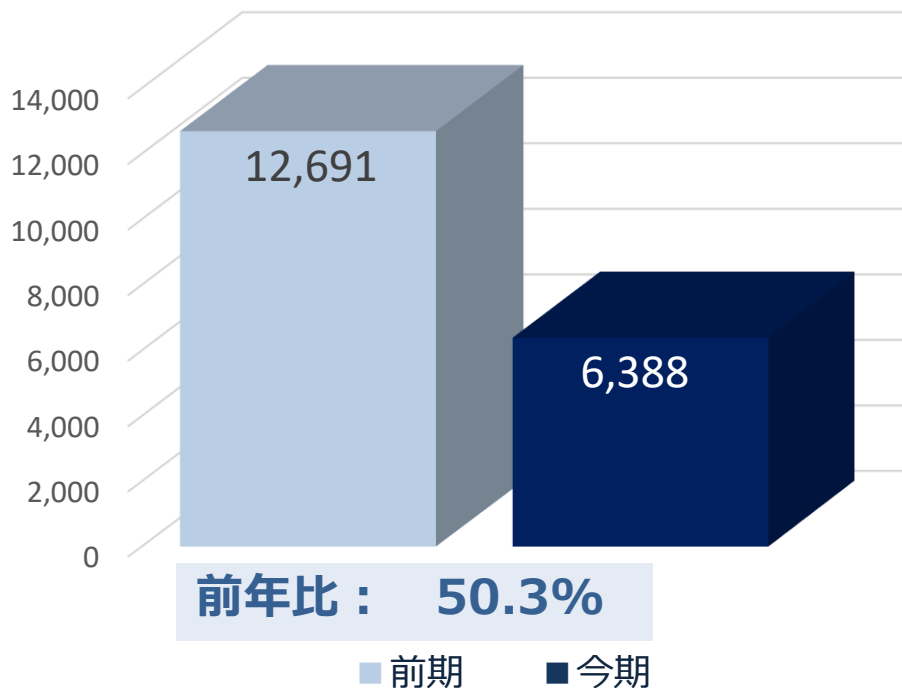
国内はQ1、海外はQ2でのコロナ感染拡大の影響を受けるも
固定費を含む販管費の削減及び不採算店舗の閉店等により
国内セグメントは営業利益確保、海外も改善傾向

セグメント別概要：国内店舗運営/Q3累計

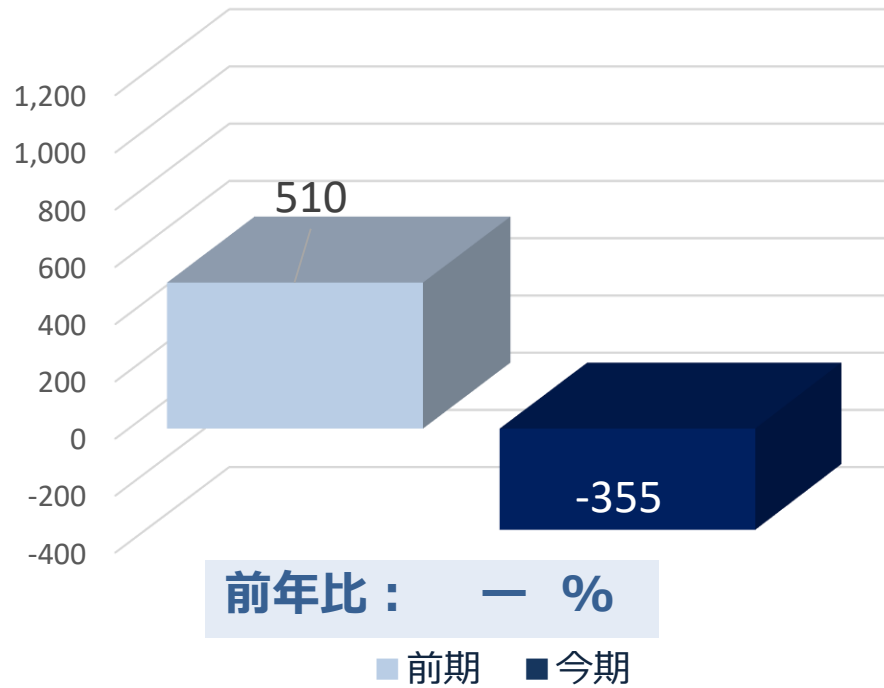


単位：百万円

売上高



営業利益

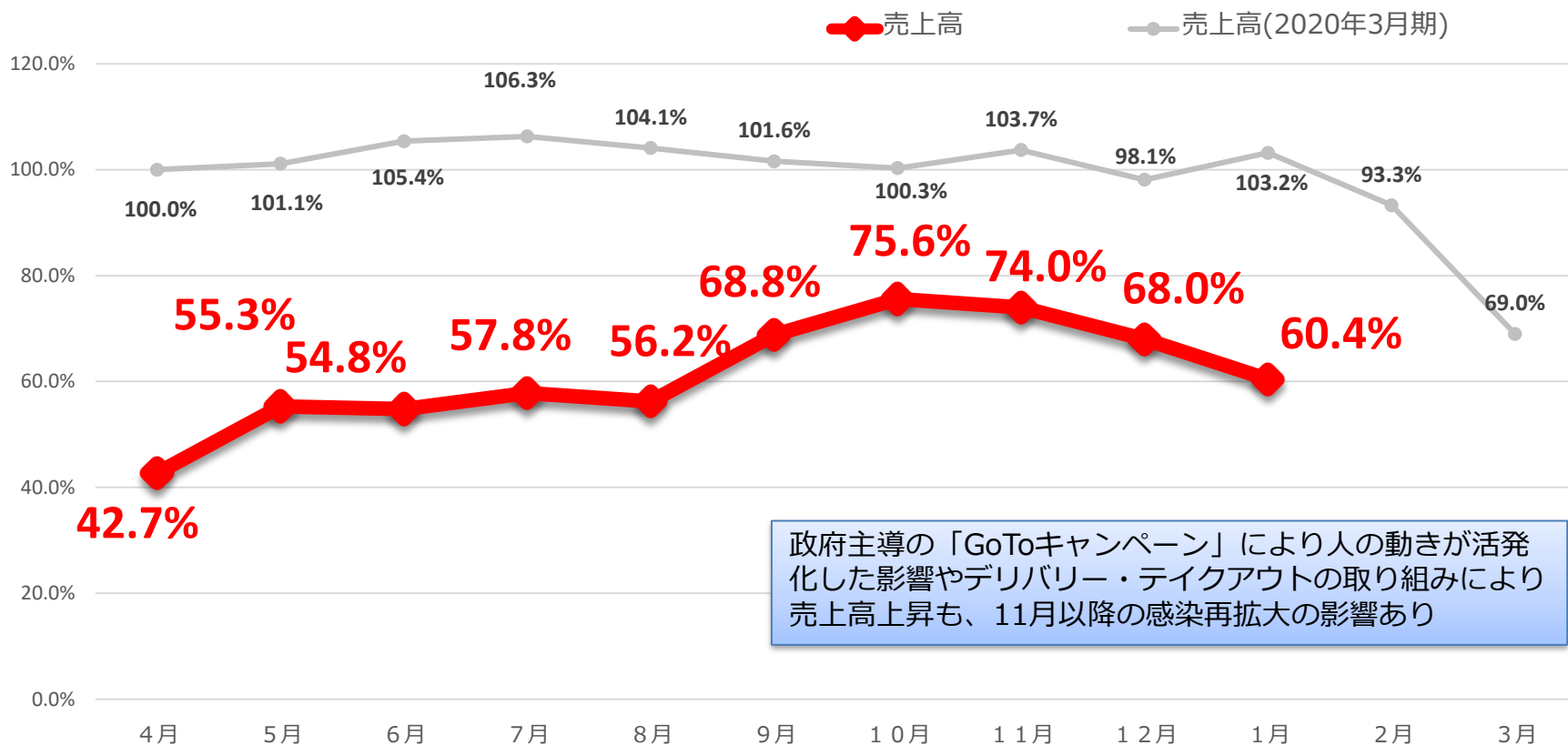


**新型コロナウイルスの影響により売上高前年比は50.3%
売上減少による家賃、人件費等の固定費率増加により営業赤字となる
(前期Q3までのセグメント営業利益率は4.0%)**

既存店前年比は持ち直すも11月以降の感染再拡大の影響あり



2021年3月期 国内既存店の売上高/客数/客単価の推移



政府主導の「GoToキャンペーン」により人の動きが活発化した影響やデリバリー・テイクアウトの取り組みにより売上高上昇も、11月以降の感染再拡大の影響あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
売上高	42.7%	55.3%	54.8%	57.8%	56.2%	68.8%	75.6%	74.0%	68.0%	60.4%			63.2%
客数	44.2%	55.7%	56.8%	58.8%	57.4%	70.5%	74.8%	72.8%	67.6%	59.8%			63.7%
客単価	96.7%	99.3%	96.6%	98.2%	97.9%	97.6%	101.1%	101.7%	100.6%	101.1%			99.2%

◆ 売上高

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴うQ1での店舗休業、営業再開後の時間短縮の影響が甚大
- 店舗の衛生対策を徹底したうえで、シーズナル商品の導入やデリバリー、テイクアウトを開始し、既存店売上高は回復基調も11月以降の感染拡大第三波の影響あり

◆ 営業利益

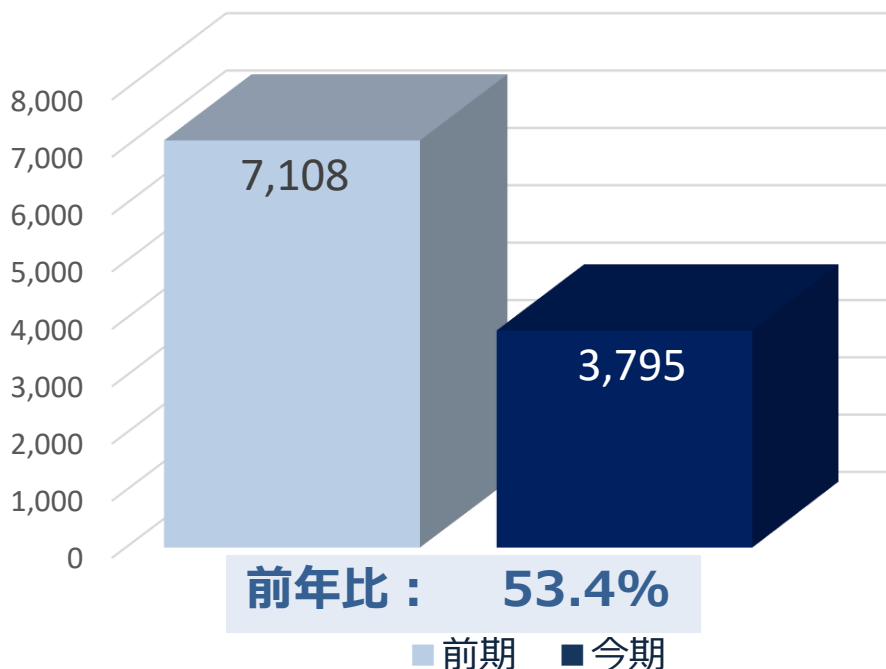
- 2020年2月以降の売上高減少によりQ1、Q2は利益にマイナスの影響も、売上回復、店舗運営効率向上、ならびに不採算店舗の閉店によりQ3で黒字化
- 地域密着型のブロック制を導入し、同一エリアにおいての効率的な店舗運営（労働時間・移動費の削減）が定着

セグメント別概要：海外店舗運営／Q3累計

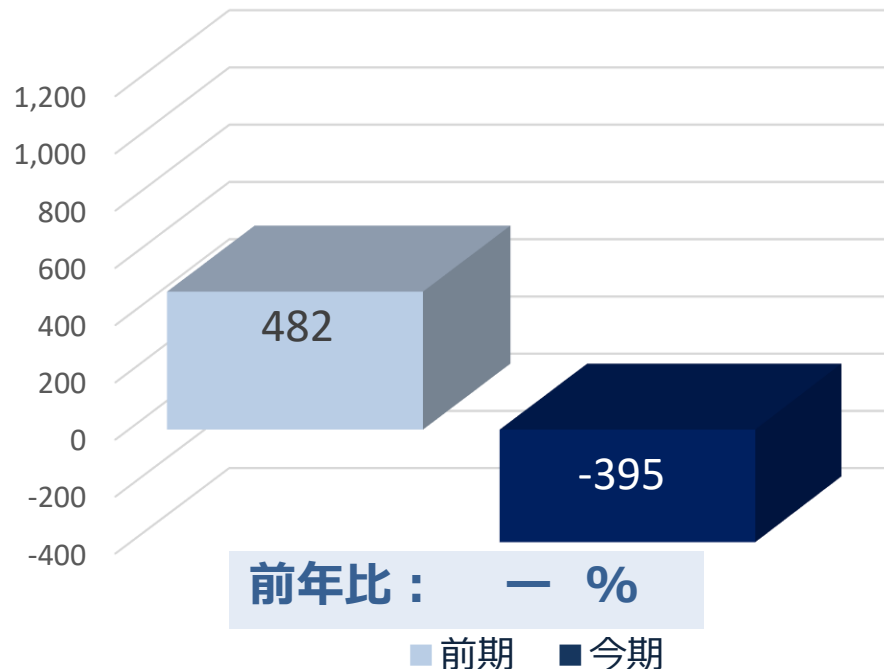


単位：百万円

売上高



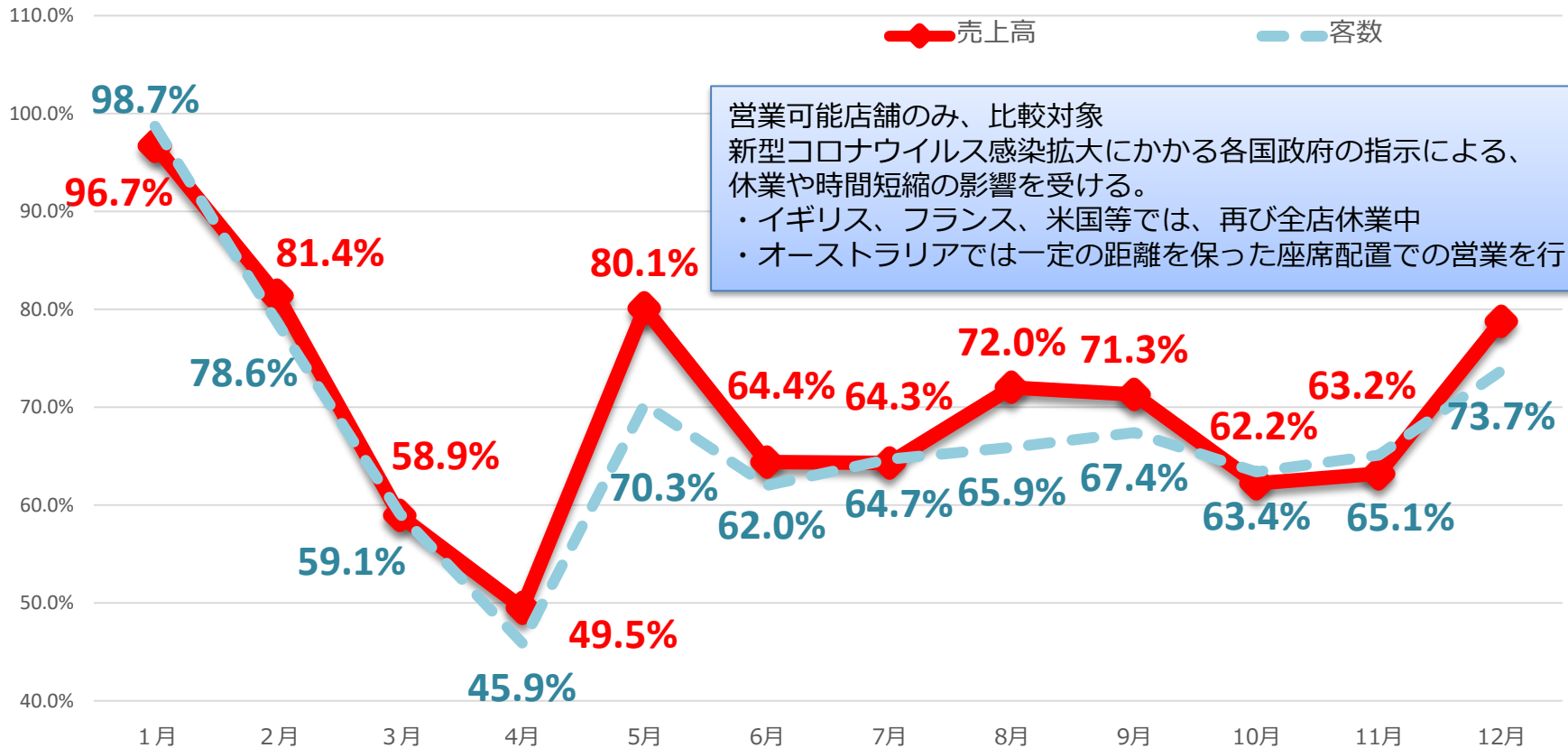
営業利益



**Q1から多くの国でのロックダウン
営業再開後も欧米を中心に第2、第3のロックダウンが生じ、売上高前年比53.4%
(前期Q3までのセグメント営業利益率は6.8%)**

既存店前年比は累計で72.3%

2020年12月期 海外既存店の売上高/客数/客単価の推移



営業可能店舗のみ、比較対象
 新型コロナウイルス感染拡大にかかる各国政府の指示による、休業や時間短縮の影響を受ける。
 ・イギリス、フランス、米国等では、再び全店休業中
 ・オーストラリアでは一定の距離を保った座席配置での営業を行う

※既存店の算出は店内営業のみを定義としており、
 店内営業実施店舗は、使用可能席数率に関わらず、既存店前年比に算入しております。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	96.7%	81.4%	58.9%	49.5%	80.1%	64.4%	64.3%	72.0%	71.3%	62.2%	63.2%	78.8%	72.3%
客数	98.7%	78.6%	59.1%	45.9%	70.3%	62.0%	64.7%	65.9%	67.4%	63.4%	65.1%	73.7%	70.4%
客単価	98.0%	103.6%	99.6%	108.0%	114.0%	103.9%	99.3%	109.2%	105.9%	98.1%	97.1%	106.8%	102.8%

◆ 売上高

- 新型コロナウイルス流行の影響が表れ始めた2020年3月以降、各国政府からの休業要請に則り、店舗休業や営業時間の短縮を行う
- デリバリー、テイクアウトのみの営業を、実施可能な一部店舗で行う
- 通信販売にて冷凍ラーメン販売の取組を開始

◆ 営業利益

- 売上高の大幅な減少により固定費を吸収できず営業赤字を計上
- 各国補助金は、特別利益として計上しており、営業利益には影響せず

セグメント別概要：国内商品販売・その他・全社／Q3累計



国内商品販売

売上高は、コロナの影響もあり前年に届かずも、
営業利益は、通販売上増加により、前年の2倍に
新ECサイト「麺'S MARKET」をローンチ

その他

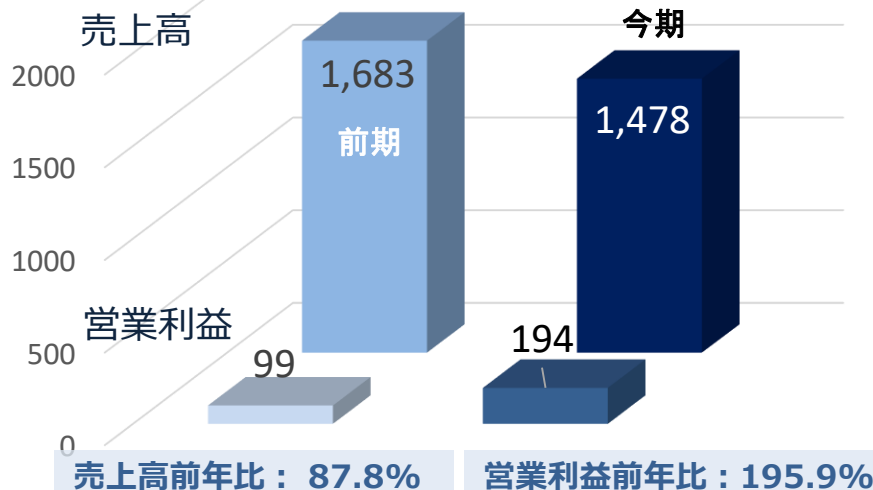
店舗休業にともない、
売上高・営業利益ともに大きく影響

全社

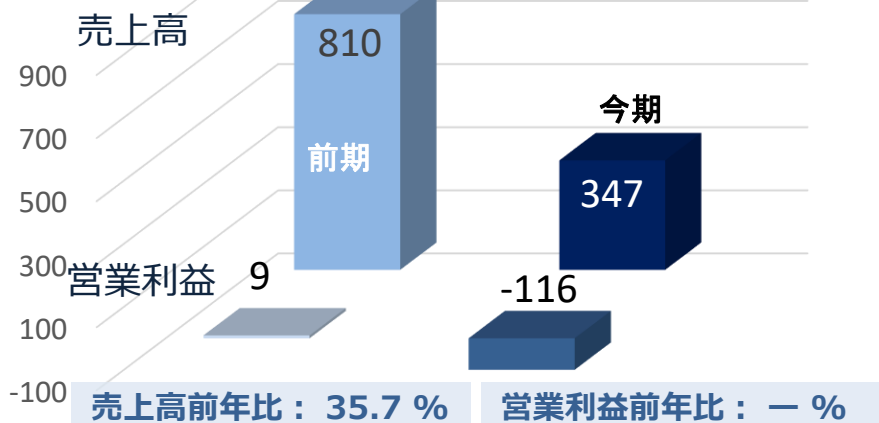
前年比138百万円(34.9%)のコスト削減
詳細は次ページに

国内商品販売

単位：百万円

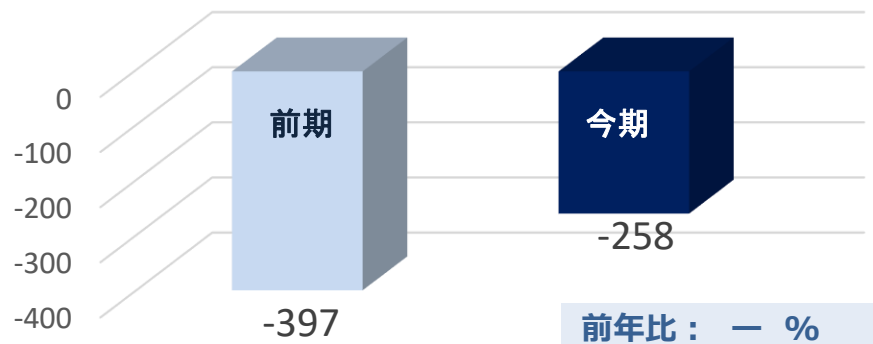


その他



全社

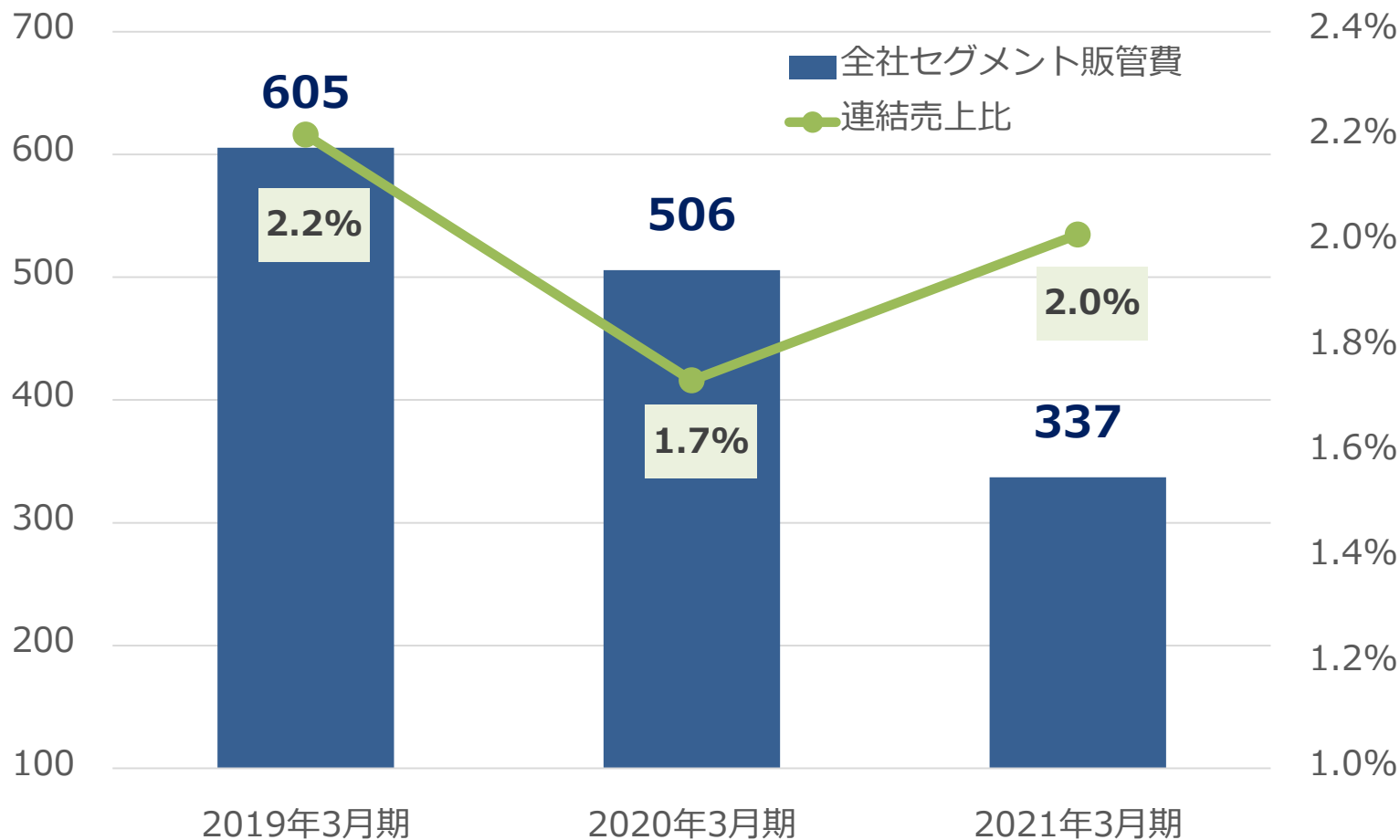
全社コスト



全社セグメント（販管費・売上高比率）の年次推移



単位：百万円



※2021年3月期Q3まで実績、Q4見込

2019年3月期より取り組んでいた商物流改革、POSシステム変更、業務フローの効率化、組織変更などの施策が2020年3月期より寄与するも今期は売上高の減少により全社セグメント共通経費の売上高比率は一時的に上昇

特別損失額 Q3累計



内容	金額 (百万円)
新型コロナによる臨時休業損失	1,475
各国政府や自治体の要請による店休や時間短縮営業時の固定費	国内 : 977 海外 : 497
戦略的店舗閉店・改装や移転による損失	427
閉店 21 店舗 改装や移転 3 店舗	
事務所の移転や解約等	32
店舗における、販売システム変更等	23
合計	1,958

連結貸借対照表



単位：百万円	2020年3月末	2020年12月末	GAP
流動資産 (うち現金及び預金)	5,424 (3,759)	5,621 (3,742)	-196 (-17)
有形固定資産	7,181	7,124	-56
無形固定資産	277	232	-45
投資その他の資産	2,510	2,767	256
固定資産	9,969	10,124	155
資産合計	15,393	15,745	352
負債合計	11,580	14,016	2,436
株主資本	3,677	1,675	-2,001
その他包括利益累計額	130	53	-76
非支配株主持分	5	-	-5
純資産合計	3,813	1,729	-2,084
負債純資産合計	15,393	15,745	352

■ 資産

・繰延税金資産の増加	+422百万円
・受取手形及び売掛金の増加	+214百万円
・現金及び預金の減少	-17百万円
・有形固定資産の減少	-56百万円
・投資有価証券の減少	-50百万円
・敷金及び保証金の減少	-86百万円

■ 負債

・有利子負債の増加	+2,155百万円
-----------	-----------

■ 純資産

・当期純損失の計上	-2,025百万円
-----------	-----------

※自己資本比率11.0%
(2020年3月末24.7%)

純損失計上も、Q1の資金調達により、キャッシュポジションを維持

(2020年12月末現在)

Global 15ヶ国・地域 Total 281 店舗

(前期末からの増減 -7店舗)

国内149店舗、海外132店舗

欧州 (7)

イギリス	4店
フランス	3店

アジア (101)

シンガポール	10店
マレーシア <ライセンス>	7店
タイ <ライセンス>	19店
フィリピン <ライセンス>	10店
インドネシア	6店
中国・香港 <ライセンス>	31店
台湾	14店
ミャンマー <ライセンス>	2店
ベトナム <ライセンス>	2店

北米 (13)

アメリカ	13店
------	-----

日本 (国内) (149)

一風堂	90店
RAMEN EXPRESS	35店
PANDA EXPRESS	8店
その他ブランド	7店
国内店舗運営事業 計	140店
<うちライセンス>	22店
イチカバチカ	1店
因幡うどん	8店
その他の事業 計	9店

オセアニア (11)

オーストラリア	9店
<一部ライセンス>	
ニュージーランド	2店
<ライセンス>	

2021年3月期 (今期) 計画



ニュージーランド
IPPUDO NEW ZEALAND Sylvia Park店
2020年11月12日 Grand Open

2021年3月期業績予想



単位：百万円	2021年 3月期 Q1	2021年 3月期 Q2累計	2021年 3月期 Q3累計	2021年 3月期 見込	2020年 3月期 実績	前年比
売上高	3,343	7,072	12,010	16,322	29,106	-43.9%
営業利益	-403	-910	-931	-1,079	697	—
経常利益	-412	-946	-980	-1,178	623	—
親会社株主に帰 属する純利益	-913	-1,922	-2,025	-2,305	-214	—

**コロナ感染拡大による影響により前期比較で
 売上高を16,322百万円（前年比56.1%）
 営業利益を-1,079百万円（前年比1,776百万円減少）での着地を見込む**

主な実施事項



お客様に安心してお食事いただけるよう、
感染予防対策を徹底しています。



消毒を徹底しています。

- ・従業員の手洗い・アルコール消毒
- ・店頭でのお客様用アルコール消毒液の設置
- ・店内設備のこまめな消毒



体調管理を徹底しています。

- ・37.5度以上の出勤制限、および店舗での検温実施



換気を徹底しています。

- ・空調の換気システムにより、数分単位で空気を入れ替え
- ・1時間に1回5分間の入口開放



飛沫・接触感染の防止を徹底しています。

- ・従業員マスク着用の徹底
- ・お客様によるアプリのクーポン消し込みのお願い
- ・手書き伝票廃止による接触機会の軽減
- ・パーテーションの設置



サービス品のご提供方法を変更いたします。

- ・辛もやし、高菜、紅しょうが等をご希望されるお客様は
お手数ですがスタッフまでお声がけください

今後も感染拡大の状況を踏まえて、逐次適切な対策に努めてまいります。
お客様のご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社チカラノモトグループ

上記の取り組みは、今後も継続いたします

シーズナル商品及び既存商品リニューアルについて

一風堂 IPPUDO RAMEN EXPRESS

「一風堂からか麺」
リニューアル!

1989年に大名本店に初登場した当時の製法を復活させ、さらに味変アイテム“胡麻ばくだん”も新登場!より辛く、より旨く、より楽しくなった“極からか麺”。ぜひ一度お召し上がりください!

きわみ
極からか麺

創業35周年記念ラーメン

辛さが選べます!!
特辛
普通
NORMAL

850円 (+税)
特製極からか麺 1,090円 (+税)
[チャーシュー2枚、のり3枚、玉子入り]

With you, IPPUDO. 35th Anniversary.

一風堂 IPPUDO RAMEN EXPRESS

ポカポカがあったまる、
一風堂の味噌とんこつ

味増
白丸

'20-'21
IPPUDO
WINTER

杯数限定
冬季限定 890円 (+税)
販売期間: 2020年11月27日(金) START!!

一風堂 IPPUDO

NO TOUKITSU
NO MEAT
NO EGG

とんこつのように、
とんこつじゃない。
植物由来の
原料で作られた
未来志向のラーメン。

2021
2.1(MON)
期間限定
発売!

このおいしさ
初体験。

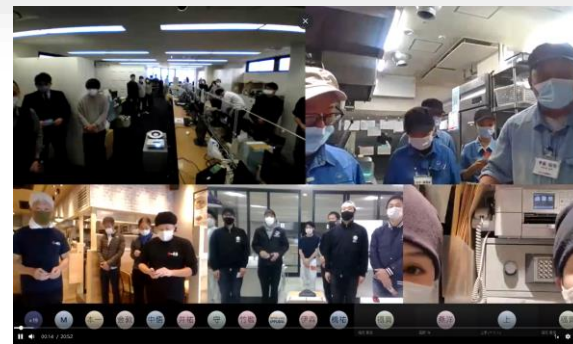
PLANT-BASED RAMEN
プラントベース丸

1,000円
[税込1,100円]

コシ深い乳+尾布だしのスープ、卵不使用の食物繊維入り全粒粉種、豆ペーストの代替肉チャーシュー。進化した未来志向の赤丸を、まずは一度お試しください!

シーズナル商品として動物性食材を使用しないプラントベースのラーメン提供や既存商品のリニューアルで新規顧客の獲得および再来店を誘引

その他の取り組みについて



※創業35周年の取り組み(一部)

※社内でのWeb朝礼を定期開催

ECサイト「麺'S MARKET」のローンチ、デリバリーの導入、感染拡大防止に沿った創業祭での取り組みを実施。全店規模でのWeb朝礼導入で意思統一。

来期以降の出店：一風堂モデル損益（イメージ）



従来のモデル損益		
	金額(千円)	売上比
売上	12,000～15,600	
変動費	7,622～9,588	61.5% ～63.5%
固定費	2,981～3,667	23.5% ～24.8%
営業利益	1,397～2,345	11.6% ～15.0%
投資	65,000～75,000	—
EBITDA	1,758～2,762	14.7% ～17.7%
BEP	8,171～9,515	—

来期以降の出店モデル損益		
	金額(千円)	売上比
売上	5,600～9,100	
変動費	3,654～5,702	62.7% ～65.3%
固定費	1,119～1,922	20.0% ～21.1%
営業利益	827～1,476	14.8% ～16.2%
投資	25,000～40,000	—
EBITDA	966～1,698	17.2% ～18.7%
BEP	3,220～5,148	—

コロナ禍により、都市部一極集中から分散経済が進むことが想定される。
従来の人口密集立地ではなく、都心部近郊の小商圈やロードサイドへの出店を前提とした低投資、早期回収の収益モデルへ変更。昨年11月オープンの浅草橋店、近日オープン予定の亀有店（仮）で導入を開始し、来期は同モデルによる出店を加速。

付属資料



中国
IPPUDO CHINA 南京KINGMO店
2020年12月11日 Grand Open

■ 創業の精神 ■

食を通して新しい価値を創造し
「笑顔」と「ありがとう」とともに
世界中に伝えていく。

変わらないために、変わり続ける。



※コロナ禍の中においても、次なる飛躍、成長のための想いを込め、
創業35周年を迎えた10月16日に刷新しております

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 13億595万円（発行済株式数：24,023,000株）
- 決算期 3月
- 従業員数 32名（連結554名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役社長	河原 成美	Mr. Shigemi Kawahara
取締役	中尾 徹	Mr. Toru Nakao
取締役	山根 智之	Mr. Tomoyuki Yamane
取締役（監査等委員）	鈴木 康義	Mr. Yasuyoshi Suzuki
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	辻 哲哉	Mr. Tetsuya Tsuji
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	田鍋 晋二	Mr. Shinji Tanabe

（2020年12月末現在）

原点の一杯 白丸元味



創業当時からの味を今に引き継ぐ、一風堂の豚骨ラーメンの本流であり、原点の味。シンプルな豚骨の旨味を極限まで抽出した豊かで香り高いシルキーなスープに、小麦本来の風味が香る博多の細麺がマッチします。

革新の一杯 赤丸新味



自家製の香味油と辛みそを加えることで、一杯のラーメンの中でいくつもの味の奥行きと調和を楽しめる。白丸が正統派のとんこつラーメンならば、赤丸新味は豚骨ラーメンの可能性を広げた“革新派”。

極からか麺



シルキーな豚骨スープに、自家製ラー油と香油を合わせ辛味とコクをプラスし、数種類のスパイスを合わせた肉味噌と「シーズニング天かす」を大胆にトッピング。別皿で添えた「胡麻ばくだん」を途中で溶かすと、担々麺風に味変します。

※「極からか麺」は創業35周年を迎えた2020年10月16日にメニューの刷新を行っております。

グループ業績の推移（年次サマリー）

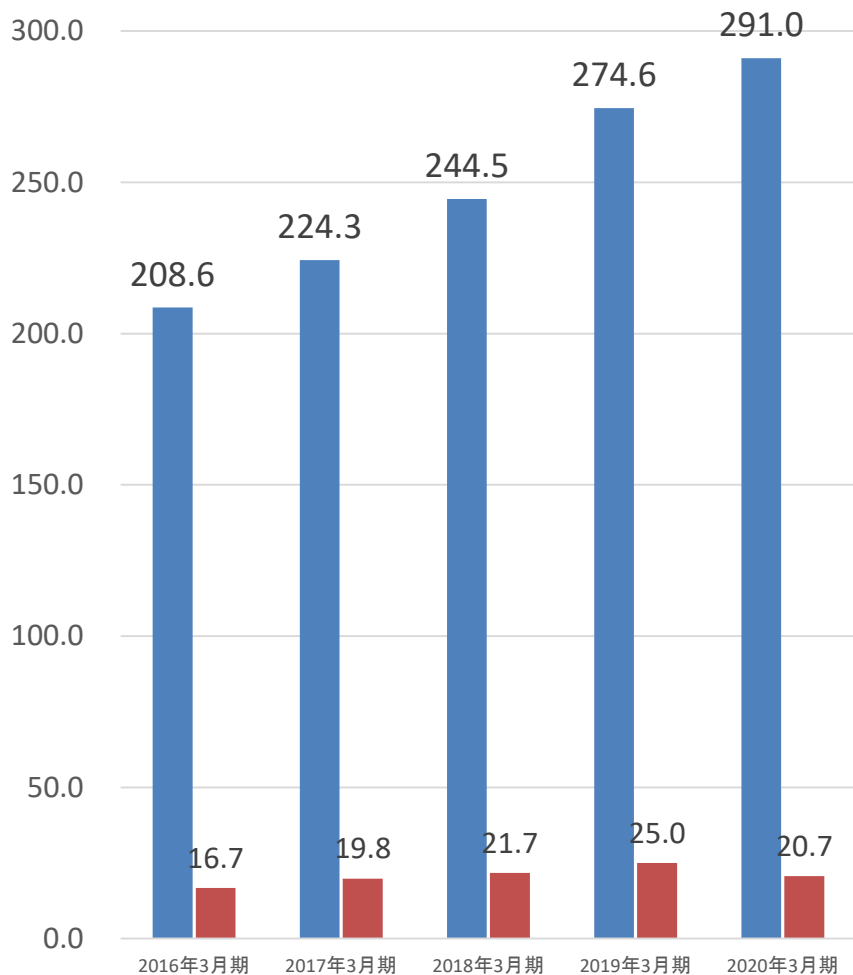


□ 連結売上高の推移（単位：億円）

2020年3月期
連結売上高

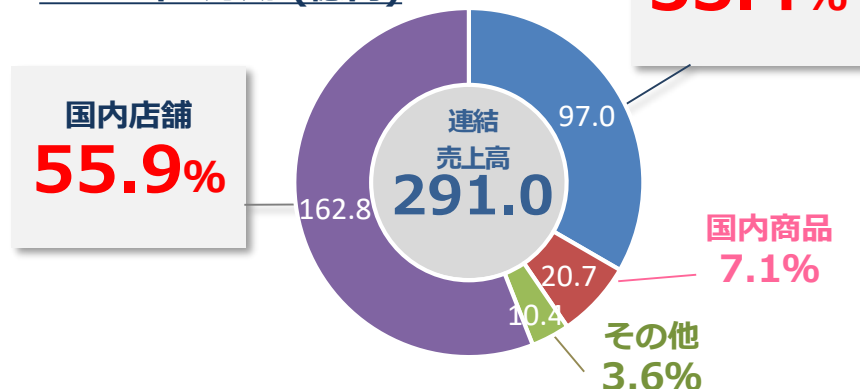
291.0
億円

■ 連結
■ 単体



□ 売上構成比（セグメント）

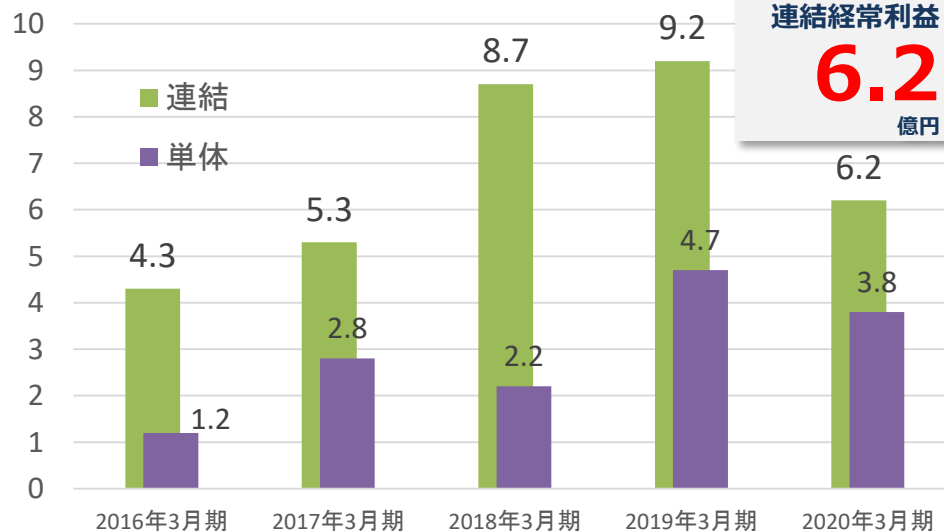
2020年3月期（億円）



□ 経常利益の推移（単位：億円）

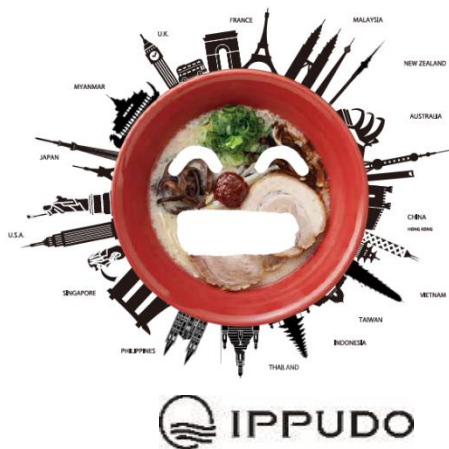
2020年3月期
連結経常利益

6.2
億円



中期的な目標

グローバル78億人がターゲット



一風堂

1979.11

福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン

1985.10.16

創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン

1994.3

横浜市の「新横浜ラーメン博物館」に出店。関東初進出

1995.4

東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1997.1

テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

2008.3

アメリカ・NYに、海外1号店をオープン

2009.5

シンガポールに、アジア1号店をオープン

2014.10

イギリス ロンドンに初出店（欧州初進出）

2015.10

創業30周年 記念イベント実施

2016.2

フランス パリに初出店

2017.3

東京証券取引所マザーズに株式を上場

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2018.11

海外100店舗を達成

2019.10

Global Leadership Conference開催



本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者に開示されまたは第三者により利用されることはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

